

2022

瑞巖寺宝物館 2022年夏の企画展

6.15(水)ー8.31(水)

8:30-17:00 (ただし入山は16:30まで)

拝観料: 大人700円 小学生・中学生400円

30名様以上の団体、障がい者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)の割引あり

寺 の 画 人 たち

秋田・山形・福島編

会場 瑞巖寺宝物館
〒981-0213 宮城県宮城郡松島町松島字町内91
TEL: 022-354-2023
URL: <https://www.zuiganji.or.jp>

主催 東北大学大学院文学研究科 東洋・日本美術史研究室
URL: <https://www2.sal.tohoku.ac.jp/art/>

後援 宮城県教育委員会 秋田県教育委員会
山形県教育委員会 福島県教育委員会

東北の画人たち I

～秋田・山形・福島編～

白河藩・谷文晁 「松島図巻」

江戸時代に活躍した東北6県の画家については、主に絵画制作を本業として一定の扶持や所領を拝領して大名家に仕える「御用絵師」、藩に所属して俸禄を賜いながら職務を遂行し、一方で余技として絵筆をふるった「武士」、さらに藩領の城下町や宿場町で生まれて画家となった「町人絵師」の3つに大別することができます。

このような画家にスポットをあてた展覧会として、これまで公立の博物館や美術館などで個別に行われてきたものの、地域を広げて俯瞰的にみる機会ほとんどなかったといっても良いでしょう。そこで、東北6県の藩領に生まれ育った画家を広範囲に取り上げて「東北の画人たち」と銘打ち、2度にわたる展覧会を開催することとなりました。2022年には前編として「秋田・山形・福島編」、2023年には後編として「青森・岩手・宮城編」をご覧ください。



秋田藩・長山孔寅 「春草双雀図」



米沢藩・左近司惟春 「関羽図」

これらの画家は「身分階層」と「出身地域」という2つの環境要因により、さまざまな感性や嗜好を育みます。ただし、決して一所にとどまるわけではなく、江戸や京都に出て修行を重ね、時には海外との窓口であった長崎にまで足を伸ばし、自らの殻を破るべく、より高みを目指す生き方を選びました。

それゆえ、その絵画表現は決してローカルにとどまるものではなく、当時としては最先端かつ個性的な作品を残した画家も少なくありません。そこで本展覧会は、彼らの持つ地域性と進取の精神がどのように化学反応を起こし、絵画作品に結実したのかを紹介する機会といたします。



会津藩・加藤遠沢 「雲龍図」

■ 講演会

7月31日(日)

・1回目(10:30～11:20)

[広瀬蒙斎と白河藩の画人たち]

講師：大野 真実 (福島県須賀川文化振興課 学芸員)

・2回目(13:00～13:50)

[秋田藩の御絵師たち]

講師：菅沼 楓 (新潟市美術館 学芸員)

・3回目(14:00～14:50)

[東北の画人たち～山形諸藩を中心に～]

講師：杉本 欣久 (東北大学文学研究科 准教授・本展覧会監修者)

・座談会(15:00～15:30)

[東北画人研究の今後]

※講演会の聴講は、瑞巖寺ホームページ「講演会申込みフォーム」または電話(022-354-2023)にてお申し込みください。

■ アクセス

・JR仙石線

仙台駅から松島海岸駅(40分) 徒歩10分

・JR東北本線

仙台駅から松島駅(25分) 徒歩25分

※専用駐車場はありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

〒980-0213 宮城県宮城郡松島町松島町内91

公式ホームページ：<https://zuiganji.or.jp>

